

# 山梨県 生活排水処理施設 広域化・共同化計画【概要版】 R6.3改定

生活排水処理施設が直面する課題に対応するための広域的取組として「山梨県生活排水処理施設広域化・共同化計画」を策定

## 生活排水処理施設の現状と課題

### 【現状】

- ✓「山梨県生活排水処理施設整備構想2017」に示す目標の達成に向けた整備を推進  
表1 山梨県汚水処理人口普及率 (R7目標88.9%)

年度	汚水処理人口普及率				合計
	下水道	農業集落排水施設	合併処理浄化槽	コミュニティプラント	
令和3年度	68.1%	1.9%	15.3%	0.5%	85.8%

### 【課題】

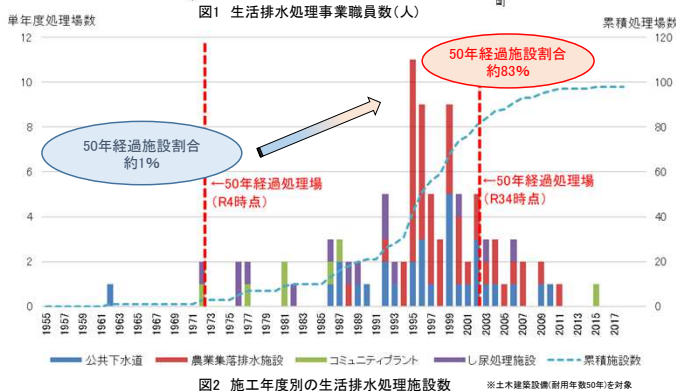
#### 人の視点

- ✓県人口の減少率は約3割 (2015年/2045年)
- ✓生活排水処理事業職員が約1割減少(直近10年間)(図1)



#### モノの視点

- ✓耐用年数を超過する施設の急増(図2)
- ✓市町村間・事業間で情報管理媒体が相違



#### カネの視点

- ✓人口減少に伴う使用料収入の減少
- ✓施設老朽化に伴う更新費用の増加

## 計画策定に向けた取組

### 【取組内容】

- ✓市町村との合意形成のもと、県主体で計画とりまとめ
- ✓市町村協働での検討会やブロック会議(「中・西部」「東部・富士五湖」)による広域化・共同化メニューの抽出
- ✓メニュー別作業部会による取組内容の検討や効果算定及び素案作成
- ✓県幹事課及び幹事市町村の決定



図3 広域化・共同化計画 ブロック分割図

## 広域化・共同化計画の内容

### 【対策メニューと参加市町村数】

- ✓ハードメニュー(25)・ソフトメニュー(16)、計41メニューを決定

表2 広域化・共同化メニュー

区分	広域化・共同化メニュー	計画メニュー数	参加市町村数
ハード	①処理施設統廃合	24	18
	②汚泥処理の共同化	1	11
	③水洗化・転換促進業務の共同化	1	21
	④事務の共同化	2	14
	⑤災害時対応の共同化	1	25
ソフト	⑥勉強会・講習会の共同化	2	22
	⑦マニュアル作成の共同化	3	13
	⑧各種計画業務の共同化	3	15
	⑨維持管理業務の共同化	2	16
	⑩台帳システム整備の共同化	1	8
	⑪不明水対策の共同化	1	16

### 【削減効果】

- ✓全メニューを実施し、最大限効果を発揮した場合の削減効果額 約25億円/年(概算)
- ハード対策により、施設を約3割削減
- 人口減少に伴う使用料収入減少分の約8割をカバー(※)
- ✓事務などの共同化実施により執行体制の強化・効率化

表3 広域化・共同化メニューの効果

区分	広域化・共同化メニュー	年あたり汚水処理費の削減額(概算)(百万円/年)
ハード	①処理施設統廃合	1,265
	②汚泥処理の共同化	1,015
ソフト	③各種計画業務の共同化	35
	④維持管理業務の共同化	168
	⑩台帳システム整備の共同化	2
	⑪不明水対策の共同化	34
合計		2,519

※メニュー別、市町村別の削減効果等を検証し、可視化するとともに、更なる取り組みを促す。

### 【進捗管理】

- ✓関係機関との連携による進捗管理
- ✓5年を目標に計画見直しを実施

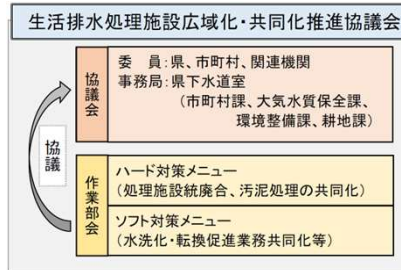


図4 進捗管理体制

### 【ロードマップ】

表4 広域化・共同化計画ロードマップ

区分	広域化・共同化メニュー	短期(R5~R9)	中期(R10~R14)	長期(R15~R34)
ハード	①処理施設統廃合	[Progress bar]		
	②汚泥処理の共同化	[Progress bar]		
ソフト	③水洗化・転換促進業務の共同化	[Progress bar]		
	④事務の共同化	[Progress bar]		
	⑤災害時対応の共同化	[Progress bar]		
	⑥勉強会・講習会の共同化	[Progress bar]		
	⑦マニュアル作成の共同化	[Progress bar]		
	⑧各種計画業務の共同化	[Progress bar]		
	⑨維持管理業務の共同化	[Progress bar]		
	⑩台帳システム整備の共同化	[Progress bar]		
	⑪不明水対策の共同化	[Progress bar]		

※本編では、ソフトメニュー赤枠内の内容を年度別に細分化して記載